








いるか塾資料  
No.2015-9-08  
発行 2015-9-08  
小林利治

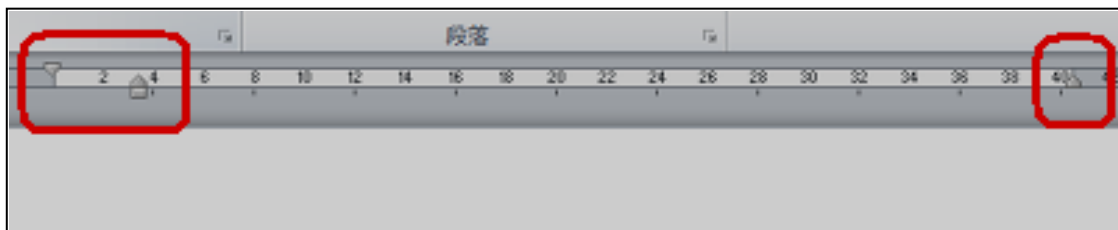


## 文字の配置（ぶら下げインデント）

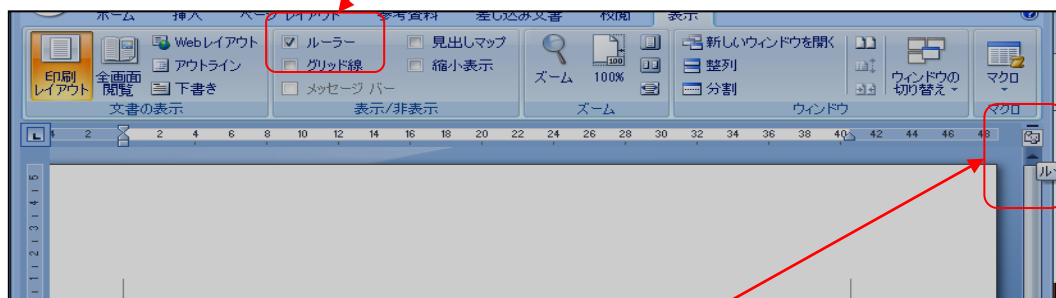
マーカー（) は、3つのマーカーで構成されています。

- 「1行目のインデント」()  
段落の1行目の左端位置を任意の位置まで字下げできます。
- 「ぶら下げインデント」()  
段落の1行目以外の左端位置を任意の位置まで字下げできます。
- 「左インデント」()  
段落全体の左端位置を任意の位置まで字下げできます。

同様にルーラー右端にある「右インデント」()を移動すると、段落右端位置を任意の位置に変更できます。



[表示] をクリックし、[ルーラー] チェックボックスをオンにしてルーラーを表示します。



ルーラーの「ON」「Off」がここで出来ます。

ところで、インデントは大きく分けて4つに分けられます。「左インデント」、「1行目のインデント」、「ぶら下げインデント」、「右インデント」です。インデントの中で、最も使う機会が多いのがこれですね。段落全体を字下げするインデントです。例えば、以下の文章を入力して下さい（コピーはダメです）

Wordでは

段落記号（エンター）で区切られた文章を一つの段落としています。つまり、文章を入力する時、エンターキーで改行する作業は、改行と同時に段落を作っている作業にもなっているわけです。よって、改行はしたいけれども、段落は変えたくない時があれば、エンターキーで改行するのはダメなわけです。そういう時は、SHIFTキーを押しながらエンターキーを押します。すると、段落を変えずに改行することが出来ます。そして、その時は、文末の記号が↓になります

ぶら下げインデントとは 段落において、1行目に対して2行目以降の行頭を下げることを「ぶら下げインデント」といいます。また、1行目にタブを入れることで、そのタブ位置と2行目以降を揃えることができます。早速やってみましょう。

---

---

この文章でタイトル以外の部分を字下げすることにします。まず、インデントは段落ごとに機能するので、字下げしたい段落が一つならば、全てを選択状態にする必要はありません。字下げしたい段落上のどこかにカーソルがあればいいのです。（左インデントを使った場合）↓

Wordでは

段落記号（エンター）で区切られた文章を一つの段落としています。つまり、文章を入力する時、エンターキーで改行する作業は、改行と同時に段落を作っている作業にもなっているわけです。よって、改行はしたいけれども、段落は変えたくない時があれば、エンターキーで改行するのはダメなわけです。そういう時は、SHIFTキーを押しながらエンターキーを押します。すると、段落を変えずに改行することが出来ます。そして、その時は、文末の記号が↓になります

下の文面に手直しをします。

1、Wordでは段落記号（エンター）で区切られた文章を一つの段落としています。つまり、文章を入力する時、エンターキーで改行する作業は、改行と同時に段落を作っている作業にもなっているわけです。よって、改行はしたいけれども、段落を変えたくない時があれば、エンターキーで改行するのはダメなわけです。そういう時は、SHIFTキーを押しながらエンターキーを押します。すると、段落を変えずに改行することが出来ます。そして、その時は、文末の記号が↓になります

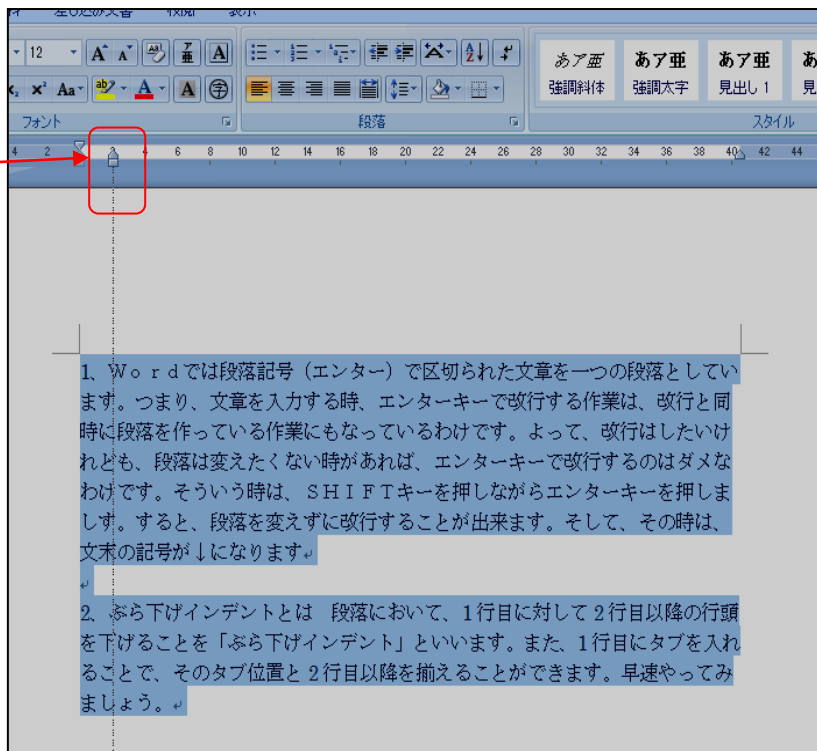
2、ぶら下げインデントとは 段落において、1行目に対して2行目以降の行頭を下げることを「ぶら下げインデント」といいます。また、1行目にタブを入れることで、そのタブ位置と2行目以降を揃えることができます。早速やってみましょう。

ぶら下げインデントは どのような時に使うのでしょうか？下のような文章があったとします。

2行目から下を、1行目の本文と位置を合わせたいときなど2行目以下をずらす時に使います。

ドラッグで文章を選択して ぶら下げインデントのマーカーにマウスを合わせます。

ずらしたい部分まで、ドラッグします。



「ぶら下げインデントを使った場合」下のようになります。

- 1、Wordでは段落記号（エンター）で区切られた文章を一つの段落としています。つまり、文章を入力する時、エンターキーで改行する作業は、改行と同時に段落を作っている作業にもなっているわけです。よって、改行はしたいけれども、段落は変えたくない時があれば、エンターキーで改行するのはダメなわけです。そういう時は、SHIFTキーを押しながらエンターキーを押します。すると、段落を変えずに改行することが出来ます。そして、その時は、文末の記号が↓になります
- 2、ぶら下げインデントとは 段落において、1行目に対して2行目以降の行頭を下げることを「ぶら下げインデント」といいます。また、1行目にタブを入れることで、そのタブ位置と2行目以降を揃えることができます。早速やってみましょう。

---

ぶら下げインデントの近くに、一行目のインデントや左インデントのマーカがあるので間違えないようにしてくださいね！

---

次回の「いるか塾」予定はワードで写真をハートや星形など切りに抜く。



切り抜いた図形を写真に入れる